

BY 2015 WE CAN:

私たちが2015年までにできること

マラリア流行国の公衆衛生上の課題からマラリアを消失

数百万人のHIV（エイズの原因となるウイルス）感染を予防

エイズによる死亡を大幅に削減

HIVの母子感染をほぼゼロに

多剤耐性結核の脅威を食い止める

結核の有病率と死亡率を大幅に削減

保健システムをさらに強化

2010年は、保健関連のミレニアム開発目標（MDGs）が達成できるかどうかが決まる重要な年です。やればできる——この数年の進捗ペースで対策を拡大すれば、MDGs達成の一手手前まで近づけることや、実際に目標を達成することが可能です。さらには、目標を超えることも不可能ではありません。

世界エイズ・結核・マラリア対策基金（世界基金）は、保健関連MDGsの達成に向けて先導的な役割を果たしています。

過去8年間でエイズ・結核・マラリア

過去8年の間に、開発援助などによる保健分野への支援が大幅に増加したことで、低中所得国におけるエイズ、結核、マラリアやその他の保健問題の進展状況が、大きく変わってきています。いくつかの成果が実際に見え始めてきました。

- 10年前には、低中所得国で抗レトロウィルス治療を受けているエイズ患者はほとんどいませんでした。しかし2008年末には、400万人以上がこの治療を享受できるようになりました。この数は、現在治療を必要とする人の40%超にあたります。この結果、エイズが流行する多くの国でエイズによる死亡が減少しています。エチオピアの首都アディスアベバでは、抗レトロウィルス治療の普及の結果、エイズによる成人の死亡が5年間で約50%減少しました。
- 過去数十年間にわたって、マラリアの流行は食い止めることができませんでした。しかし今日、新規のマラリア感染が減り、また何よりも素晴らしいことに、アフリカの少なくとも10以上のマラリア流行国が、乳幼児の死亡数が50～80%減少していると報告しています。
- 世界基金の支援を受けて結核対策を行う多くの国で、結核の有病率、死亡率ともに減少しています。2015年までに結核の有病率を半分以下にするという国際目標も実現可能になってきました。

世界基金が

設立以来の僅か8年間で、世界基金はグローバル・ヘルス（地球規模の保健医療課題）に対する重要な多国間援助機関となりました。世界基金を通じた支援は、発展途上国の結核対策、マラリア対策に対する国際援助総額の3分の2、エイズ対策では5分の1を占めています。

エイズ 2009年12月末現在、世界基金の資金を受けたプログラムにより、**250万人が抗レトロウィルス治療を受けて**います。さらに79万人のHIV陽性妊婦に母子感染予防の治療、エイズ遺児やエイズによって困難な環境におかれている子どもたち延べ450万人に基本的なケアとサポートを提供しました。また、延べ1億500万人にHIV予防のための自発的カウンセリング・検査を提供し、18億個のコンドームを配布しました。

結核 2009年末までに、世界基金の資金により、**600万人の結核患者に治療を提供**しました。また、HIVと結核の二重感染に対応するため延べ180万人にサービスを提供しました。

マラリア 2009年末までに、世界基金の資金を受けたプログラムにより、**マラリア感染予防のための殺虫剤浸漬蚊帳を1億400万張配布**しました。さらに殺虫剤の室内残留噴霧を1900万回以上実施し、述べ1億800万人の患者にそれぞれの国の治療ガイドラインに沿ったマラリア治療を提供しました。世界基金の支援は、従来マラリア治療薬による薬剤耐性が問題になっていた国で、新しい効果的な治療に切り替え、それを普及させることに重要な役割を果たしてきました。

との闘いは劇的な進展を遂げました

国際社会からの投資は、感染症対策の現場で必要な保健サービスへと速やかに効率よく転換され、何百万、何千万人という人々がその恩恵を受けています。不十分な医療設備にもかかわらず、世界中の保健医療従事者たちが、新規に投入されるこの資金を使い何百万人もの命を救っています。

近年の三大感染症対策では、投入される資金量とそこから生み出される成果との間に、密接な関係が見られます。支援が増えれば、結果に直結するのです。投資に対する効果が見えにくい開発分野では、稀有な例と言えましょう。

何百万人もの感染者に薬や支援を届け、また、さらなる感染拡大を防ぐための活動は、保健医療分野にとどまらな

い重要性を持ちます。共通する開発課題に対して世界を一致団結させ、また富める国と貧しい国との間の不平等を取り除くことに大きく貢献しています。

しかしながら、私たちはまだ途半ばであり、成果は磐石ではありません。もし、感染症対策への資金が減少、あるいは停滞することがあれば、再び感染症の猛威はぶり返しこれまでの努力が水の泡となります。むしろ、ミレニアム開発目標の到達もかなわなくなります。

果たした役割

世界基金は、**地域社会を基盤とした感染症対策を支援**しています。2003年以来、世界基金が支援するプログラムにより実施された、地域での感染症予防啓発活動は述べ1億3800万人に、研修を受けた保健医療従事者やコミュニティ・ワーカーの数は延べ1130万人にのぼります。

こうした努力の積み重ねにより、2009年12月までに**490万人の命が救われたと推計**されています。そして、世界で3300万人のHIV陽性者、何百万人ものマラリア患者や感染リスクにある人々、年間940万人の結核患者が、生きる望みを取り戻すことに役立っています。

世界基金が資金を提供しているプログラムにより、**毎日少なくとも3600人の命が救われ、何千人もの新規感染を予防**することができます。これらの数値は、数年のうちにさらに向上するでしょう。なぜなら、2008～2009年にかけて支援承認額は大幅に増加したため、その資金が各国に届き実際に事業が進む2010～2011年にはさらに大きな成果が期待できるからです。

世界基金のエイズ、結核、マラリア対策への投資は、**保健システムへの大規模な投資**でもあります。それはインフラ整備や検査施設の強化、人材の拡大、ヘルスワーカーの技能や能力の強化、モニタリング・評価活動の開発や支援など多岐にわたります。こうした保健システムの強化は、その国がこれら三疾病以外の保健分野への対応力を高めることにつながり、ひいては、国民の健康と生産性を向上させ国家のさらなる発展につながります。

世界基金の投資は**ミレニアム開発目標4、5、6の分野の進捗を加速**させ、その他の目標達成にも間接的に貢献しています。世界基金が承認した192億ドルの支援は、直接的にはミレニアム開発目標6（HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止）に貢献しています。

また、女性や子どもの主要死因である疾病を減らすことにより、**ミレニアム開発目標4**（乳幼児死亡率の削減）と**目標5**（妊産婦の健康の改善）にも**大きく貢献**しています。特にサハラ以南のアフリカ諸国では感染症対策の貢献が顕著です。なぜなら、妊娠可能な年齢層の女性の死亡の52%はエイズ、結核、マラリアによるもので、乳幼児の死亡の16～18%はマラリアによるものだからです。

世界基金 — 高い効率性・透明性を保つ21世紀にふさわしい組織 —

世界基金の設立構想が生まれたのは、国際社会が、発展途上国におけるエイズの流行への対応に失敗した事に気づいた頃のことでした。結核・マラリア対策も同じ課題を抱えており、これら三大感染症への対応の遅れは、公衆衛生にとって、また人権の面からも、前例がない危機的状況を生み出していました。

こうした中、2001年4月にコフィ・アナン国連事務総長は "call to action" (行動要請) を発表し、世界に行動を起こすよう呼びかけました。その数ヵ月後に開催された国連エイズ特別総会にて、国際社会はこの呼びかけを是認しました。翌2002年1月、緊急事態に対応し三大感染症対策を加速することにより、ミレニアム開発目標達成の一助となるべく、世界基金は設立されました。

すでに着実な成果があがっています。

2009年12月までに、発展途上国のエイズ・結核・マラリア対策への支援として **承認された金額は総額192億ドル、そのうち100億ドルが支出済み**です。

世界基金への拠出金・寄付金は、その**全額が発展途上国の感染症対策プログラムに投入**されます。世界基金はカントリー・オフィスを持たず、組織の運営経費は利子で賄われています。

支援の成果は、**様々なパートナーと共同で取り組んだ結果として達成**したものです。世界基金のパートナーには、支援を受け入れる国の政府、市民社会、企業から国際機関までが含まれます。すべてのパートナーが感染症対策の拡大に貢献しており、その功績は高く評価されています。

世界基金は、**援助効果向上のための国際的な取り組みに積極的に貢献**しています。援助効果のモニタリングに主導的な役割を果たし、「実績に基づく資金支出」の経験を共有するなど、成果管理の分野で特に大きな役割を果たしています。

世界基金は組織運営、パートナーシップ、評価、独立監査を通して、**常に学び、改善し、革新的であり続ける**努力をしています。評価と学習を継続することで、世界基金は自らの対応力と効率性、有効性を高めています。

案件の交渉から事業実施にいたるすべての段階で、世界基金は**投資価値を高める**努力を続けています。例えば、事業開始2年後に行う実績評価では、成果があがっていない事業から資金を他に振り替えたり、効率性向上を見極めていきます。2009年度には、**10億ドル近い資金が捻出され、新たな事業に充当**されました。

さらに、世界基金では、144カ国への支援事業のポートフォリオを通して、エイズ、結核、マラリア対策の**単価の分析手法を開発・改善**しています。このようなデータ分析は、経費節減を可能にし、また、ベスト・プラクティスや無駄の洗い出しにもつながります。さらに、各国が新しく案件を申請する際の必要資金の積算にも役立っています。

The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria

Chemin de Blandonnet 8 +41 58 791 1700 (phone)
1214 Vernier +41 58 791 1701 (fax)
Geneva, Switzerland www.theglobalfund.org/en/
info@theglobalfund.org

